

事 業 報 告

決 算 報 告 書

(第 3 2 期)

自 平成 2 2 年 4 月 1 日
至 平成 2 3 年 3 月 3 1 日

株式会社 札幌花き地方卸売市場
札幌市白石区流通センター7丁目3番5号

平成 22 年度 事業 報告

平成 22 年度（第 3 2 期）の当社の事業活動の概要をご報告いたします。

1 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過およびその成果

平成 22 年度のわが国経済は、好調な新興国経済などの外需主導で、景気は回復過程にありましたが、3 月 11 日に発生した東日本大震災により、状況は大きく変化し、経済情勢の先行きに不透明感が高まっております。

一方、北海道経済は、景気刺激策の効果や海外需要増などから、緩やかな景気持ち直しの動きを見せていたものの、大震災後は来道観光客の減少や消費マインドの悪化など、道内産業への影響が懸念されております。

このような状況の下で、平成 22 年度の取扱高は、数量で 1 億 2,180 万本(前年度 1 億 2,178 万本)、金額で 9 億 1,098 万円(前年度 9 億 2,431 万円)と、数量では前年並み、金額では 1.7%増の取扱実績をあげることができました。

なお、平成 22 年の他市場の取扱状況を見ますと、道内では対前年比 2.9%増の 1 億 5,790 万円であり、当市場の取扱は 59%のシェアとなっております。

また、全国の花き市場の動向では、社団法人日本花き卸売市場協会の発表によると、会員市場(卸売業者 137 社)の取扱金額は、約 4,086 億円で、対前年比 0.9%増となっております。切花類はわずかながら持ち直しましたが、鉢物類については減少傾向が見られます。

市場の運営におきましては、花きの安定的な供給と効率的な事業運営を目指して、札幌市と共同で実施した「花き流通活性化検討調査」で示された活性化プログラムを基に、情報発信の強化や道産花きの流通促進などについて、具体的なアクションプランを策定いたしました。さらに、花きの振興、需要喚起の取り組みとして、引き続き北海道花き振興委員会に協力し、北海道花き品評会(切花・鉢物)を開催するとともに、切花生産団体と大通公園のオータムフェストに参加、道産切花を市民に PR いたしました。また、幼稚園児を対象とした「お花に親しむ交流会」は今年度で 4 回目となり、鉢花生産団体と協力して行ったほか、小学校 3・4 年生が生花店を模擬体験する「ミニさっぽろ」には、卸業者、仲卸業者、小売団体などと連携して、市場関係者一体となった花育事業にも積極的に取り組みました。

その結果、平成 22 年度の営業成績は、取扱額の増加により施設賃貸収入を含む売上高が前年対比 0.8%増となりました。一方、営業費用では経費節減等により 2.3%減となり、当期純利益で 5,380 万円を計上することになりました。

(2) 資金調達等についての状況

資金調達

当期中において、新たな借入金、株式の発行、補助金の交付などはありません。

設備投資

当期中に行った設備投資はありません

(3) 直前三事業年度の財産および損益の状況

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売 上 高	142,155千円	133,795千円	133,532千円	134,603千円
当 期 純 利 益	4,707千円	2,321千円	6,277千円	5,381千円
1株当り当期純利益	11円59銭	5円71銭	15円46銭	13円25銭
総 資 産	815,217千円	752,953千円	733,543千円	783,527千円

(4) 使用人の状況

従業員数 社員 4 名（男子2名、女子2名）、パートタイマー 2 名

2 株式に関する事項

(1) 発行する株式の総数 500,000株

(2) 発行済株式の総数 406,000株

(3) 当期末株主数 5 名

株 主	株 主 名	持 株 数	株 式 割 合
	札幌市	204,000 株	50.25 %
	札幌花き園芸(株)	164,600 株	40.54 %
	北海道植物(株)	19,000 株	4.68 %
	(株)北海道銀行	16,000 株	3.94 %
	はまなす花き(株)	2,400 株	0.59 %
	計	406,000 株	100.00 %

3 会社役員に関する事項 (平成23年3月31日現在)

役 職	氏 名
代表取締役社長	生島 典明
専務取締役	鴫田 義明
取 締 役	本間 敬久
取 締 役	綱木 孝夫
取 締 役	村田 長市
取 締 役	山田 紀雄
取 締 役	佐藤 亮二
取 締 役	田嶋 久嗣
監 査 役	宮原 龍次
監 査 役	木村 雅樹

以上、平成22年度の会社の事業活動の概要をご報告いたしましたが、今後とも、全力をあげて市場運営に取り組んでまいりますので、関係各位の特段のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。事業報告といたします。

平成23年6月22日

株式会社札幌花き地方卸売市場
代表取締役社長 生島 典明

損 益 計 算 書

自平成22年4月1日

至平成23年3月31日

(単位：円)

科 目	金	額
【 売 上 高 】		
施設賃貸収入	106,240,592	
売上高割使用料	50,495,393	
面積割使用料	38,241,253	
関連店舗使用料	17,503,946	
精算業務収入	25,518,344	
駐車管理収入	2,845,000	134,603,936
売上総利益金額		134,603,936
【 販売費および一般管理費 】		130,016,203
営業利益金額		4,587,733
【 営 業 外 収 益 】		
受取利息	374,466	
雑収入	2,571,537	2,946,003
【 営 業 外 費 用 】		
支払利息割引料	0	
賞与引当金繰入	1,474,620	1,474,620
経常利益金額		6,059,116
【 特 別 利 益 】		
貸倒引当金戻入益	10,363	
賞与引当金戻入	1,779,046	
退職給与引当金戻入	902,402	2,691,811
【 特 別 損 失 】		
固定資産除却損	241,891	241,891
税引前当期純利益		8,509,036
法人税、住民税及び事業税		3,127,800
当期純利益		5,381,236

株主資本等変動計算書

自平成22年4月1日
至平成23年3月31日

(単位：円)

株 主 資 本	資 本 金	利 益 剰 余 金		株主資本合計	純資産合計
		その他利益剰余金			
		別途積立金	繰越利益剰余金		
前 期 末 残 高	470,000,000	40,000,000	33,886,553	543,886,553	543,886,553
当 期 変 動 額					
別途積立金の積立		0		5,381,236	
当期純利益			5,381,236	5,381,236	5,381,236
当期変動額合計	-	0	5,381,236	5,381,236	5,381,236
当 期 末 残 高	470,000,000	40,000,000	39,267,789	549,267,789	549,267,789

上記のとおりご報告申し上げます。

株式会社 札幌花き地方卸売市場
代表取締役社長 生島 典明

個別注記事項

- 1 この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。
- 2 重要な会計方針に係る事項
 - (1) 棚卸資産の棚卸方法および評価基準
棚卸方法 ----- 実地棚卸
評価基準 ----- 最終仕入原価法
 - (2) 有形固定資産の減価償却方法
法人税法の規定による定率法によっております。但し、平成10年4月以降取得の建物については、定額法によっております。
 - (3) 無形固定資産の減価償却方法
定額法を採用しております。
 - (4) 有形固定資産の減価償却累計額 633,157,623 円
 - (5) 引当金の計上基準
貸倒引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、法人税法の規定にもとづく法定繰入率による繰入限度額を計上しております。
退職給与引当金
従業員の退職給付に備えるため、自己都合による退職金の期末要支給額の100%相当額を引当計上しております。
 - (6) 1株当りの当期利益 13円25銭
 - (7) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
 - (8) 消費税の納付税額の計算方法は、原則課税制度によっている。また、その経理処理は税込方式としております。
- 3 株主資本等変動計算書に関する注記
 - (1) 当該事業年度の末日における発行済み株式の総数 406,000株
 - (2) 配当に関する事項
当期中における配当金の支払いはありません。
 - (3) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの
配当金の支払い予定はありません。